

新年のごあいさつ



一般社団法人電波産業会
会長 間塚道義

年頭にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

会員の皆様には、平素から当会の事業に対しまして格段のご支援、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

お蔭さまで昨年も当会の主要な業務である通信・放送分野における電波利用システムに関する調査・研究・開発業務、照会相談業務、普及啓発業務、標準規格の策定業務等のいずれも順調に推進することができました。

これもひとえに総務省をはじめ関係団体及び会員の皆様方のご支援、ご協力の賜物であり、改めて深く感謝する次第でございます。

さて、一昨年3月に発生した東日本大震災を機に大規模災害時の「通信・放送」の重要性が再認識され、また、携帯電話やスマートフォンを誰もが利用するなど、無線通信は国民生活に身近で欠くことのできないものとなっています。総務省では、情報通信政策の重点領域の一つとして「堅牢・柔軟なICTインフラの構築」を掲げ、「新たなワイヤレスシステムの実用化・展開」、「無線LAN、衛星通信等を活用した重層的ネットワークの整備等による壊れない／輻射しないネットワーク環境の実現」、「アプリケーション／サービスの高度化によるワイヤレス関連ビジネスの創出」等に積極的に取り組んでいます。

当会をはじめ我々の産業界を取りまく状況を顧みますと、通信分野においてはスマートフォンが急速に普及し、これに対応して移动通信システムは第3世代から3.9世代、さらに第4世代（IMT-Advanced）へと確実に発展しつつあります。また、広帯域移動無線アクセスシステム（BWA）においても高速化やエリア拡大など、サービスの充実が図られています。さらに、高度道路交通システム（ITS）、電子タグ、機器間通信（M2M通信）などにおける電波利用の

拡大など、無線システムの高度化が進展しています。

放送分野においては、昨年3月をもって全国でアナログテレビ放送が終了し、デジタル放送に完全移行しました。昨年4月からは携帯端末向けのマルチメディア放送が開始されるとともに、放送と通信がより密接に連携したデジタル時代の新しい放送サービスの検討も進んでいます。さらに、スーパーハイビジョンなどの高臨場感を実現する新しいシステムや、現在の2眼システムとは全く異なる立体テレビなど、将来の放送システムに向けた研究開発も進展しています。

また、ICT 国際競争力強化の取り組みとして、我が国の地上デジタルテレビ放送方式（ISDB-T）の国際普及活動が、中南米諸国、アジア、南部アフリカ地域において積極的に展開されており、ISDB-T方式の採用国は着実に増加しております。

このような状況を踏まえると、社会のニーズに的確に対応して、新しい電波利用システムを迅速に研究開発し標準化することや、今後の新しい電波の利用を調査研究していくことの大切さは、ますます高まってきております。このため当会では、電波利用に関する調査・研究・開発、標準規格の策定、GSC、3GPP、ITU、APT等での国際連携の推進及び照会相談等に積極的に取り組んで参りたいと思います。なお今年、ITS世界会議東京の開催が予定されており、同会議の成功に向けて積極的に協力してまいりたいと思います。当会の事業に会員皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



第 105 回電波利用懇話会開催のお知らせ
「我が国の産業活性化に向けたビッグデータの活用」

社会・産業における ICT の役割は、近年、新たな製品、サービス、ビジネスを創造する戦略的な資産としてその価値が高まっています。この鍵となるのが、「ビッグデータ」の収集・集積、活用です。

ビッグデータの活用は、ビジネストレンドの変化を加速しています。例えば、マス・マーケティングからカスタマイズド・マーケティングへの流れ、製造業のサービス業化への流れなどです。この流れに乗ることで、ビジネスの大きな拡大が期待されます。

ビッグデータの活用は、競争の枠組みも変えています。例えば、医療コンサルティング・サービスやヘルスケアサービス、学習サービスなどをモバイルユーザに提供することにより、モバイルサービスの競争力強化が期待されます。このようなサービス展開を想定し、標準化作業も進められています。

ビッグデータの活用には何より『発想の転換』が求められ、これにより大きなビジネスチャンスが期待されます。今回の電波利用懇談会は、ビッグデータや M2M に関する産学官連携の仕事に携わっていらっしゃる東京大学 先端科学技術研究センター 稲田 修一 特任教授を講師にお迎えし、ビッグデータの活用によるビジネス拡大のチャンスや社会的課題の解決についてご講演を頂きます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 : 平成 25 年 2 月 5 日 (火) 午後 2 時から 3 時 30 分まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル 11 階
- 3 題 名 : 「我が国の産業活性化に向けたビッグデータの活用」
- 4 講 師 : 東京大学 先端科学技術研究センター 稲田 修一 特任教授
- 5 対 象 : ARIB 正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 70 名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参加費 : 無料
- 9 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 佐藤 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2012@arib.or.jp

WINDS（超高速インターネット衛星「きずな」）利用実験 シンポジウム開催のお知らせ

ARIBが事務局を務めているWINDS利用実験実施協議会では、2008年2月23日に打ち上げられた超高速インターネット衛星「きずな」を利用して、これまで5年間にわたって様々な分野の利用実験を実施してきました。

利用実験は、アジア・太平洋地域から9か国、45の機関の参加のもと、遠隔教育、遠隔医療、災害対策、通信方式、電波伝搬等種々の分野で実施され大きな成果をあげてきました。2012年6月には、WINDS利用実験実施協議会は、その活動を通し衛星通信の発展に多大な貢献をしたことにより「電波の日」総務大臣表彰を受けました。

そこで、これまでの利用実験活動の集大成として、その成果をより広く公表することを目的にシンポジウムを開催いたします。別紙プログラムのとおり、海外を含め各実験実施機関の方々から実験の実施状況と成果について発表いただきますので、ぜひご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

- 1 名称 : WINDS利用実験シンポジウム
- 2 日時 : 2013年2月7日（木） 14時から17時15分まで
- 3 場所 : 一般社団法人電波産業会 会議室
(千代田区霞ヶ関1-4-1 日土地ビル11階)
<http://www.arib.or.jp/syokai/map/index.html>
- 4 プログラム : 別紙参照
- 5 主催 : WINDS利用実験実施協議会（事務局（一社）電波産業会）
- 6 後援 : 総務省、情報通信研究機構、宇宙航空研究開発機構
- 7 申込先 : 下記の電波産業会ホームページからお申込みください。
<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>
- 8 定員 : 一般公開 70名程度（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 9 参加費 : 無料

なお、シンポジウム終了後同場所にて懇親会（会費制 2,000円）を予定しています。
どなたでもご参加いただけますので併せてご案内します。

お問合せ先 : WINDS利用実験実施協議会事務局（一般社団法人電波産業会内）
越野、岩船
E-mail: winds-sec@arib.or.jp
TEL : 03-5510-8593

WINDS（超高速インターネット衛星「きずな」）利用実験シンポジウム
～実験成果の社会への定着を目指して～

プログラム

	題目	講演者（敬称略）
14:00	主催者挨拶	WINDS 利用実験実施協議会 会長 西原 明法
＜セッション1＞ WINDS 実験の概要		
14:05	未定	総務省 宇宙通信政策課 調整中
14:20	JAXA 基本実験の成果と今後の展望	宇宙航空研究開発機構 衛星利用推進センター 主幹開発員 高野 潔
14:35	NICT 基本実験の成果と今後の展望	情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所 研究マネージャー 高橋 卓
14:50	利用実験の実施状況と成果	WINDS 利用実験実施協議会 事務局
＜セッション2＞ 海外の WINDS 利用実験実施状況		
15:00	タイにおける WINDS 利用実験の実施結果	チュラロンコーン大学 助教授 Supavadee Aramvith
15:15	タイにおける WINDS 利用実験での学術ネットワークの活用	国立電子・コンピュータ技術研究所 調整中
15:30	インドネシアにおける WINDS 利用実験の実施結果	バンドン工科大学 元教授 Utoro Sastrokusumo
15:45	フィリピンにおける WINDS 利用実験の実施結果	フィリピン大学 准教授 Roel Ocampo
16:00	休憩	
＜セッション3＞ 遠隔教育、遠隔医療、通信制御方式、電波伝搬、		
16:10	フィリピン、タイ、日本間の高精細映像によるマルチキャスト遠隔教育	東京工業大学 教授 西原 明法
16:25	災害時を想定した WINDS 衛星による遠隔画像診断用医用画像の送受信	首都大学東京 教授 八木 一夫
16:40	超高速衛星回線用トランスポート層技術	広島市立大学大学院 教授 石田 賢治
16:55	WINDS を利用した降雨減衰補償適用方法に関する実証実験	日本電気株式会社 エキスパートエンジニア 奥居 民生
17:10	閉会挨拶	一般社団法人電波産業会 常務理事 研究開発本部長 松井 房樹
17:30	懇親会	

＜セッション2＞ の使用言語は英語で、通訳は付きませんのでご注意ください。

平成 24 年度 Vehicle Safety Communications 関連国際会議 結果報告会を開催

12月25日(火)、ARIBが事務局を務めるITS情報通信システム推進会議は、第10回目を迎える平成24年度Vehicle Safety Communications関連国際会議結果報告会を、東海大学校友会館にて開催しました。

報告会は、午後2時から5時まで、80名を超える参加者のもと開催され、特定非営利法人ITS Japan 天野肇専務理事の来賓挨拶に続き、ITS情報通信システム推進会議のVSC関連活動概要、ITS世界会議ウィーン2012、VSC関連国際会議結果、ITU-R SG-5・WRC会合結果の報告が以下のとおり行われました。

全体を通し参加者の高い関心を集めて熱心に聴講いただき、LTE適用の可能性や、隊列走行(SARTRE: Safe Road Train for the Environment)の実現性などに関して、活発な質疑応答が行われました。

【報告1: ITS情報通信システム推進会議 VSC関連活動概要】

運転支援通信システム専門委員会 副専門委員長(電気通信大学教授) 小花 貞夫 氏

【報告2: ITS世界会議ウィーン2012関連】

■ ITS世界会議ウィーン2012&VCSSワークショップ報告

一般社団法人日本自動車工業会 瀬川 邦生 氏

■ ES 01: Communication technologies

総務省総合通信基盤局 移動通信課 新世代移動通信システム推進室長 田沼 知行 氏

運転支援通信システム専門委員会 VSC-TG 副主査 小山 敏 氏

■ SIS 11: ITS Radio communication for Vehicle Safety and Sustainability

運転支援通信システム専門委員会 VSC-TG 主査(名城大学教授) 津川 定之 氏

総務省総合通信基盤局 移動通信課 国際係長 水井 健太 氏

一般社団法人電波産業会 研究開発本部 ITS-G 担当部長 瀬川 倉三 氏

運転支援通信システム専門委員会 VSC-TG 副主査 小山 敏 氏

■ SIS 68: Global deployment of Car-2-X communication technology

■ ETSI TC-ITS, AWG

運転支援通信システム国際対応WG 主査 山本 武志 氏

■ ITS世界会議東京2013 企画案紹介

総務省総合通信基盤局 移動通信課 国際係長 水井 健太 氏

【報告3: VSC関連国際会議関連 (ITS世界会議以外)】

■ SARTRE

運転支援通信システム専門委員会 VSC-TG 主査(名城大学教授) 津川 定之 氏

■ C2C_CC Forum

一般財団法人日本自動車研究所 鈴木 尋善 氏

【報告4: ITU-R SG5・WRC関連】

■ 79GHz短距離レーダー関連

運転支援通信システム専門委員会 VSC-TG 副主査 小山 敏 氏



VSC 関連国際会議結果報告会の様子と天野専務理事(左)、津川 VSC-TG 主査(右)

編集後記

本年も ARIB NEWS をよろしくお願い致します。

忘年会が終わったと思ったら、今度は新年会と、まだまだウェストと体重計が気になってしょうがない方がたくさんいるのではないのでしょうか。

よくお腹いっぱい食べて、ご飯は食べられないけど、デザートは別腹だからまだ入る！というのを聞きますよね。

では別腹は本当に存在するのでしょうか？

別腹は・・・存在するんです！！

といっても、文字通りの別の腹というか臓器があるわけではなくて、デザートや甘いもの、好きな食べ物を見て、おいしそうだと感じたときに、脳の視床下部から『オレキシン』という物質が分泌され、それにより胃や消化管の運動が活発になり、蠕動運動により胃の内容物を十二指腸へと送り出します。そうすることで、胃の上部に新しく余裕が生まれて、ケーキなどが入るといった仕組みになっているそうです。

くれぐれも、食べ過ぎに注意しましょう。

(編集子：bsj)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp